

フットサルで東北大会へ



東北大会へ出場する選手の皆さん

11月18日から19日にかけて大崎市古川総合体育館（宮城県）で行われた第23回U-15フットサル大会東北大会へ出場した選手の皆さんが10月12日、市長を訪問しました。

8月の県予選で優勝し東北大会出場を決めたFCトゥリオーニU-15の丹代智駿キャプテン（五一中3年）は「東北大会に向けて練習を重ね、大会本番ではチームの力を合わせて全国大会出場を目指します」と大会への意気込みを話しました。

また、嶋谷監督は「県大会前はあまり練習できなかったが、優勝できて良かった。東北大会では、自分達が持っている力を発揮して頑張りたい」と期待を込めて話しました。

日本鉄道賞「特別賞」受賞



表彰された平山会長(右から2人目)

五能線の沿線自治体などで組織する五能線沿線連絡協議会（会長：平山市長）と東日本旅客鉄道株式会社が取り組んできた「沿線地域の魅力をつないで走る五能線「リゾートしらかみ」20年」が、日本鉄道賞「沿線地域+鉄道でつくれた広域観光」特別賞を受賞し、平山会長が10月16日の表彰式へ出席しました。

今回の受賞は、沿線地域の自治体と鉄道事業者がともに地域を盛り上げ、活性化してきたことが評価されました。

平山会長は「今後も広域観光振興の面で地域の方々と連携しながら発展を続けていきたい」と受賞の喜びを話しました。

新作立佞武多下絵発表



制作者の福土さん(左)と新作立佞武多下絵

11月1日、平成30年度新作大型立佞武多下絵の記者発表が行われました。新作のタイトルは「稽古照今（けいこしょうこん）・神武天皇、金の鴉（とび）を得る」で、昔の知恵などで現代に通じるものがあれば、それを役立てて新しい時代へ向かって現代を生き抜こうという意味が込められています。

運行通算21台目の大型立佞武多制作者の福土さんは「動きの遅い立佞武多に躍動感と迫力を表現できるような構図で、鴉の部分に注目してほしい。地元の方が他の地域に誇れるようなねぶたを制作したい」と話しました。

老人クラブ連合会「合同金婚式」



顕彰状を手渡す平山市長

老人クラブ連合会「合同金婚式」が11月11日、生き活きセンターで行われました。今年は14組の夫妻が、パートナーに感謝しながら、節目を祝っていました。

式では市長が1組ずつ顕彰状を手渡ししながら、挨拶をして回り、齋藤直好さんが「結婚生活は生活面や仕事面で様々なことがあったが、金婚式を契機に、夫婦互いに喜びや楽しみを噛み締めながら、健康に過ごしたい」と50年のあゆみを話しました。

また、平山雄一さんが「幾多の風雪に揉まれながら、夫婦で共に今まで過ごしてきました。このように盛大な金婚式を開催していただき、感謝します」と謝辞を話しました。